



臨床医の基本は目の前にいる1人の患者をいかに救うかということにあると思います。そこで初期研修の間には、できるだけ幅広くプライマリケアの實力を身につけることが重要かと思えます。単に臨床手技を身につけるだけではなく、一例一例につき病状や病態を考えた文献を読むを身につけてください。臨床医としての實力は学生時代の成績とはあまり関係なく、これからの数年間をどう過ごすかで決まるといえます。

徳島大学病院では関連病院との連携により研修医の皆さんが幅広く選択できる臨床研修プログラムを用意しています。将来自分がどんな医師を目指すかを考えても、複数の病院で学び数多くの指導者と出会うことが大切です。同じ診療科でも病院を変わるのに新しい診断法や治療法との出会いがあるでしょう。次世代の日本の医療を背負って立つ若者がこのプログラムから育つことを期待しています。 病院長 安井 嘉生

平成24年度の臨床研修が始まりました。



▲オリエンテーションと心肺蘇生実習

平成24年4月2日より、新しく24年度臨床研修プログラムの研修医を迎えました。平成23年度のマッチングでマッチ率95.5%という良好な結果が得られたこともあり、今年度の徳島大学病院のプログラムには、1年次37名、2年次28名の合計65名と当院の卒後臨床研修センター開設以来、最も多くの研修医が在籍することとなりました。研修医室は例年以上に研修医たちの若いエネルギーに満ち溢れており、2年次の研修医達が先輩として1年次の研修医を励ましたりアドバイスしたりする様子もよく見られるようになりました。今年度のプログラムも、各研修医それぞれの希望に沿うような「オーダーメイド」のプログラムとなっているため、誰一人として同じプログラムはありません。協力病院もさらに増設されており、2年間の研修期間中に県内や四国だけでなく、北海道や東京などでも研修してくる研修医もいます。

例年通り、研修医向けのオリエンテーションを行いました。各部署からの講義に加えて、採血・点滴実習など研修にすぐに役立つトレーニングも実施しました。

毎年好評を得ている新人看護師との「コミュニケーション研修」では業務におけるコミュニケーションの重要性を学び、病棟での研修を円滑に行う助けとなることを期待しています。

オリエンテーションの最終日である4月11日に「徳島大学病院新人研修医・看護師歓迎交流会」を徳島市内のホテルで開催し、病院長をはじめ、各診療科指導医、看護部長、看護長にも御参加いただき、職種を超えての親交を深めることができました。参加者は総勢194名にのぼり大盛況の会となりました。また、4月14日には徳島県医師会で行われた徳島県医師会主催の「新人研修医歓迎の集い」に参加し、県内の他の病院で研修を開始した研修医とも交流を深め、懇親会では飯原徳島県知事からも激励のお言葉をいただきました。

研修がスタートしてからは、どの研修医も各科で熱心な指導をいただいた方から朝早くから夜遅くまで研修に励んでおり、今後の成長が楽しみです。今後も引き続き研修医の育成にご協力とご支援をよろしくお願い致します。



▲研修医と新人看護師のコミュニケーション研修



▲合同新人研修医、看護師歓迎交流会

平成25年度 徳島大学病院 卒後臨床研修プログラム

徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページ <http://www.tokudai-sotsugo.jp>

平成25年度の卒後臨床研修プログラム内容が決まりました。卒後臨床研修制度の改訂に伴い、今年度と同様に各研修医の自由度を増やしたものになっています。パターン1から4までの4つのプログラムがあり、徳島大学病院での研修期間は8か月以上必要です。協力病院については、ホームページを参照ください。

2013年(平成25年)					2014年(平成26年)					2015年(平成27年)				
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
内科					救急					選択必修				
6ヵ月					3ヵ月					2ヵ月				
										1ヵ月				
										1ヵ月				
										11ヵ月				

(※)別添資料の選択に必要な研修科を選択



徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会スケジュール

4月29日(日) 中国四国中央広域救済研修医合設研修会(岡山コミュニケーションホール)
6月16日(土) 平成25年度 徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会
(徳島大学病院臨床研修センター、リハビリテーションセンター)
7月18日(日) レジデンスフェア(大塚(インテックス東))
7月19日(日) レジデンスフェア(東京ビッグサイト)

マッチングスケジュール(2012年)

6月21日(木) マッチング参加登録開始	8月30日(木) 第二回選考試験(面接)	10月11日(木) マッチング希望順位登録最終締切
8月3日(金) 第一回の面接	9月7日(金) 第三回選考試験(面接)	10月25日(木) マッチング組み合わせ結果発表
8月13日(月) 第一回選考試験(面接)	9月17日(月) 第三回選考試験(面接)	
8月20日(月) 第二回選考試験	9月28日(金) マッチング中間発表	

パターン1 3病院連携プログラム

徳島大学病院(徳大)、徳島県立中央病院(県中)、徳島市民病院(市民)とのコラボレーションが可能なプログラムです。必修科、選択必修、選択科のうち何科の研修をどの病院で、どの期間に行うかを研修医が自由に決めることができます。

パターン2 Bon Voyageプログラム

選択科の研修期間が増えたことにより、専門医研修へつながる有意義な研修が可能です。新近に全国規模で研修協力病院も増え、選択数が増えたりしました。

パターン3 産婦人科研修プログラム

将来、産婦人科医を目指す研修医を対象とした、産婦人科医の基本的事項を研修できるプログラムです。

パターン4 小児科研修プログラム

将来、小児科医を目指す研修医を対象に高度先進医療から一般小児科、小児救急、新生児医療など幅広い小児医療について専門的なレベルの研修が行えるプログラムです。

研修医紹介

1

1年目研修医

村 勇太  一日一日、少しずつでも確実に成長していけるように頑張ります。よろしくお願ひします。	大田 隼人  一日一度に研修に取り組みたいと思います。ご指導のほどよろしくお願ひします。	幸田 麗子  分からないことが多くありますが、充実した研修生活を送れよう、前向きに日々精進したいと思っています。	坂本 舞一  初心を忘れず、日々精進していくように頑張ります。	佐佐 弘樹  充実した研修生活を送れるように、指導を待って取り組みます。	末廣 雅  不器用な私ですが、日々精進したいと思っています。よろしくお願ひします。	曾根 公子  一日一日大切に、常に新しいことを身につけられるようにしたい、充実した研修にしたいと思っています。	高橋 彩加  日々成長できるよう、向ふをもちて研修に励みたいと思います。
谷口 雅葉  色々とは分からないことがありますが、まわりの皆さんに支えられながら頑張りたいと思っています。	車 寛子  知らないことが多くありますが、前向きに日々精進したいと思います。	寺岡 大貴  元気に楽しんで研修します。	中西 麗恵  プライマリーコースで研修させていただきました。地域で活躍できる医師を目指し、しっかりと勉強します！	西村 光太郎  貴方同様で東京より移りました。貴方は最初は戸惑っていたかもしれませんが、慣れてくれば、どうにかしたいと思っています。	羽根 匠哉  貴院だけは医者で自分の無能に悔みながら毎日ですが、少しでも早く成長しなれそうです！頑張ります。	福家 雄  まだまだ未熟な人間ですが、一歩一歩と前へ進んでいきます。	藤田 美香  感謝と思いやりの気持ちで大らかに、日々努力していきたいと思っています。ご指導よろしくお願い致します。
松田 麗子  初心を忘れず、一生懸命をモットーに、熱心に取り組んでいきたいと思っています。	松本 和久  今のうちにたくさん経験をしておきます。	宮内 雅弘  笑顔と誠実さを大切に、一つ一つのことを理解して吸収していきたいです。	山崎 裕行  人とのつながりを大切に、早く一人前の医師になれるよう頑張るの、よろしくお願ひします。	横田 有理  恵まれた環境で研修できて嬉しいです。患者さんに誠実に、出来るよう頑張ります。	森 宏彰  小さな気づきを大切にしながら日々成長できるよう頑張ります。	古本 哲朗  小児科志望です。良い小児科医になれるよう、日々前進します！	松崎 葵  まだまだ未熟ですが、何事にも一生懸命取り組んでまいります。ご指導のほどよろしくお願い致します。

2

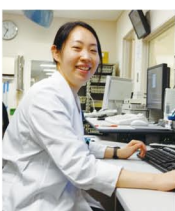
2年目研修医

田岡 恵保  初心を忘れず、笑顔と大層に研修に励みたいと思います。今後ともご指導よろしくお願い致します。	高木 亜理  大学・病中をまわって、幅広い医療を経験できました。来年からは、人生を生かしていきたいと思っています。	中川 真志  約1年間に大学に在ったこと、今年もより一層実りある1年になるよう精進していきます。	高橋 真美子  2年目というところ、まだ気持ちに慣れていないと思いますが、ご指導よろしくお願い致します。	藤岡 智介  早いもので2年目になりました。まだまだ未熟ですが、フィットワークを毎日頑張っています。	乃野 朱美  謙虚に貴病室に所属し、笑顔で頑張ります！	東本 佳美  まだまだ未熟ですが、大学での研修で得たことを、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。	立花 綾香  働き出して1年が過ぎました。まだまだ未熟な私ですが、一歩一歩成長し、向うあつて仕事に励みます。
---	---	--	--	--	---	--	---

先輩からのメッセージ

初期研修で学んだこと

徳島大学病院 放射線科
外崎 千智
(H22・H23年徳島大学病院
卒後臨床研修プログラムで研修)



私は初期研修の大部分を徳島大学病院で過ごしました。卒業大学ということもあり知り合いも多く、本当にたくさんの方々に支えられながら充実した研修生活を送ることができました。この2年間で学んだのは、医療の現場ではコミュニケーションがとても重要だということです。実際の臨床では色々な行き違いが事故につながる可能性があります。また一方で複数の診療科の先生や職種の方が様々な角度から患者さんを見ることで診断にたどり着くこともありますが、みなさんも一つ一つの出会いを大切にしながら、笑みある研修生活を送って下さい。

卒後臨床研修センター（平成24年度）



センタースタッフ



▲卒後臨床研修センター



▲卒業生と研修医の交流の場にて

平成24年1月より、呼吸器外科の概補部一部助教が新たにセンター専任教員として加わりました。また、年度初めの異動に伴い数名が4月から離れががりました。新メンバーとなった卒後臨床研修センターですが、改めてフレッシュな気持ち

で研修医が充実した研修を始めるように、研修環境や研修プログラムのさらなる改善とともに研修医1人、1人に合わせた研修指導を行っていきたく思います。今後とも徳島大学病院の卒後臨床研修にご協力ご支援をよろしくお願い致します。

編集後記

新年度の研修がスタートしました。今年は例年以上に多くの研修医を迎えることができ大変うれしく思っています。卒後臨床研修センター内の研修医も研修医たちの成長に貢献しています。卒後臨床研修センターでは研修医たちが心身ともに健康で有意義な研修生活を送るよう、全力でサポートします。卒後臨床研修センターにすること、このコーディネーターに関することなど、何かありましたらご連絡ください。(W)

■ ニュースレターにご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@jim.tokushima-u.ac.jp
徳島大学病院
Tokushima University Hospital
徳島大学病院 卒後臨床研修センター
Tel: 088-633-9359 または 0976 Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@jim.tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokudai-sotsugo.jp